

教 育 行 政

第 1 節 昭和40年度福島県教育委員会努力目標

昭和40年度における教育行政は、逐年累積した成果の反省にもとづき、かつ、国の施策と本県総合開発計画に呼応して長期総合教育計画を策定し、教育の近代化を促進して、心身ともに健全な県民の育成のため、下記7項目の目標の遂行に努力を結集する。

目 標	重 点 事 項
1. 教職員の研修態勢を確立してその資質の向上をはかり、児童生徒の学力の向上につとめる。	教職員研修の諸条件を改善して現教育を充実し、その専門的成長をはかるとともに、教育活動の質的充実につとめて学力の向上を推進する。 (1) 現職教育の推進 (2) 指導体制の充実 (3) 教育研究団体の活動の促進 (4) 学力向上のための研究調査の推進 (5) 研究学校、実験学校運営の充実 (6) 幼稚園教育の振興
2. 道徳教育、生徒指導の徹底をはかり、健全な児童生徒の育成につとめる。	学校教育における道徳教育および生徒指導の体制を確立し、関係諸機関との連携をはかり、健全な児童生徒の育成につとめる。 (1) 道徳教育、生徒指導の指導体制および指導法の改善充実 (2) 教育相談の充実 (3) 進路指導の徹底
3. 産業教育、科学技術教育の振興をはかる。	産業および技術の進歩に即応した産業教育、科学技術教育を充実して、産業開発に寄与する有能な人材を育成する。 (1) 各種振興法による教育施設設備の充実と活用 (2) 商業教育の体質改善の推進 (3) 農業教育近代化の促進 (4) 理科教育センターの整備充実と活用
4. へき地教育、特殊教育の振興をはかる。	教育の機会均等の趣旨にもとづきへき地教育、特殊教育の施設設備の充実をはかるとともに、関係教職員の資質を高め指導内容の刷新と教育活動の充実につとめる。 (1) 教職員の適正配置と教職員組織の充実強化 (2) へき地教職員研修の強化 (3) 盲学校、ろう学校、養護学校の整備 (4) 盲学校、ろう学校職業教育の強化 (5) 特殊学級の拡充

目 標	重 点 事 項
5. 教育環境、教育条件の合理化を促進する。	長期視野にたつて、教育環境、教育条件の整備充実につとめる。 (1) 長期総合教育計画の策定 (2) 高等学校施設設備の促進と教職員定数の確保 (3) 学校管理運営の合理化 (4) 学校防火対策の徹底 (5) 教職員の福利厚生事業の拡充強化
6. 社会教育の振興と県民文化の向上につとめる。	時代の進展に即応する社会教育活動を展開するために、指導体制の確立と施設設備の充実をはかるとともに、芸術文化の保護奨励を強化して、県民の資質向上につとめる。 (1) 少年生活指導の強化 (2) 勤労青少年教育の振興 (3) 家庭教育、成人教育の振興 (4) 芸術文化の振興と文化財保護の強化 (5) へき地への文化の導入 (6) 社会教育指導体制の確立 (7) 公民館等社会教育施設の整備促進
7. スポーツの振興と体位体力の向上をはかる。	スポーツの普及と技術の向上をはかるとともに安全教育を徹底し、学校給食の普及充実を促進して青少年の体位体力の向上をはかる。 (1) 学校体育指導の充実 (2) スポーツ人口の拡大と水準の向上 (3) 体育施設、設備の整備促進 (4) 学校給食の完全実施と内容の充実 (5) 学校環境衛生検査の実施とその事後措置の徹底 (6) 安全教育の徹底

第 2 節 教 育 委 員 会

1 教 育 委 員 会

昭和40年10月9日で任期満了の委員長には改選の結果、今泉修二委員が選任され委員長職務代理者には阿部信義委員がえらばれた。

昭和40年12月23日で任期満了による笠原良平委員の後任に玄葉与光氏が選任され、昭和40年12月24日就任した。

現委員は次のとおりである。

職 名	氏 名	職 業	住 所	就任年月日
委 員 長	今 泉 修 二	会社取締役	二本松市郭内3丁目263の1	38. 10. 11
委員 長 職務代理者	阿 部 信 義	な し	原町市大町2丁目190	39. 10. 11
委 員	太 田 緑 子	な し	郡山市池の台9-3	37. 10. 10
委 員	江 花 静 子	な し	会津若松市東山町石山字水尾前丙221	39. 10. 11
委 員	玄 葉 与 光	酒 造 業	田村郡船引町大字船引字北町通41	40. 12. 24